

滋慶学園 COMグループ

OCA 大阪コミュニケーションアート専門学校

TCA 東京コミュニケーションアート専門学校

学生の作品のレベルを向上させるためには書体が重要です。
学生たちに良い環境を用意し、良い作品・良いポートフォリオを作ってもらいたいと考えました。

全国でデザイン、音楽、動物系専門学校など22校を運営する滋慶学園COMグループ。中でも産学協同教育を実践する「大阪コミュニケーションアート専門学校」および「東京コミュニケーションアート専門学校」では、グラフィックデザインやイラストレーション等の授業でMORISAWA PASSPORTを導入している。教室のMacで使える書体が大幅に増えたことは、デザインを学ぶ学生からも好評だ。

業界のスタンダード環境で即戦力を育てる

「広告を制作するプロダクションが、即戦力として専門学校生を採用するようになってきた」と語るのは、大阪コミュニケーションアート専門学校の鞍井修一学校長。元は株式会社電通でクリエイティブ局長を務めていた人物だ。

「広告制作会社は、昔は大学生しか採りませんでした。今は専門学校からたくさん採用しています。バブル景気がはじけてから、大手の広告代理店は別として、制作プロダクションでは大学生を採用して育てる余裕がなくなってしまったんです。大学の美術教育で学ぶのは、ファインアート。それを、広告制作の戦力にするには2〜3年かかるんです。プロダクションには、その余裕がない。そこで、即戦力として専門学校に期待されているんです。」

今年で創立20周年を迎えた大阪コミュニケーションアート専門学校、および東京コミュニケーションアート専門学校では、産学協同による即戦力の育成が行われている。大手企業が提携し、学生たちのための課題を提供。現役のデザイナーたちが講師として活躍し、実践的で質の高いクリエイティブ教育を提供しているのだ。

現在、東京・大阪ともにMac教室ではMORISAWA PASSPORTが導入されている。その経緯について、大阪で教務部長を務める富田政則氏は、次のように話す。

「現在は、Mac OS XとAdobe Creative Suite CS2がメインの環境になっています。大阪では2008年の春から、東京ではそれ以前からMORISAWA PASSPORTを導入しました。Macの入れ替えということもありましたが、やはりモリサワの書体が業界の主流であること、そして学生の作品のレベルを向上させるためには書体が重要です。学生たちに良い環境を用意し、良い作品・良いポートフォリオを作ってもらいたいと考えました。」



大阪コミュニケーション
アート専門学校
学校長 鞍井 修一氏



大阪コミュニケーション
アート専門学校
クリエイティブ系 教務部長
富田 政則氏



東京コミュニケーション
アート専門学校
クリエイティブ系 教務副部長
伊藤 大祐氏

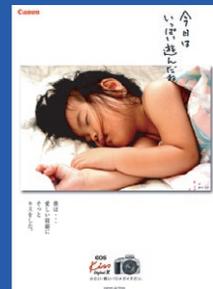
さらに東京校でデザイン系の教務副部長を務める伊藤大祐氏が「環境については、業界のスタンダードが学校のスタンダードという考え方です」と話す上で、こう続ける。

「MORISAWA PASSPORT導入以前は、モリサワ基本5書体を購入してしていましたので、使える書体が限られていたんです。それがMORISAWA PASSPORTによって、モリサワ書体のすべてが使えるようになる。学生たちにとって、文字組のバリエーションが増えるのは魅力ですね。また、かつて(基本5書体以外の書体に関しては)教室によって入っていたり、入っていなかったりというのがありましたが、そういったこともなくなりました。」





株式会社大林組
This is KANSAI-Design
建築物の5連判ポスター



キヤノンマーケティング
ジャパン株式会社
「EOS Kiss Digital X」
ポスター

株式会社ケンウッド
トランシーバー「DEMITOSS 20」雑誌広告・販促用カタログ編集デザイン

「企業プロジェクト」カリキュラムからの制作例

国内外の著名な企業の協力により、商品化を前提とした企画やコンテンツ制作など様々な課題に取り組み、プロが行う仕事を1年生から卒業まで徹底してトレーニングする。学生は、商品の特長やターゲット市場を丹念にリサーチした上で、制作・プレゼンテーションまでを行う。即戦力となる学生の育成に非常に役立っている。

質の高い環境を学校にも、自宅にも

鞍井学校長は、MORISAWA PASSPORTが学生に与える影響について、大きな期待を抱いている。

「学生のうちから、学生だからこそ、最先端で高いクオリティのものを使って作品を作ってほしい。そういう世界を、社会に出る前に知っていることは素晴らしいことです。新しいものを使うこと、(選択肢の多い中から)自分の意志で選んで使うことは、多くの企業プロジェクトに取り組むのと同じように視野を広げるといえます。」

東京・大阪のどちらの学校でも、Mac教室の24時間解放日が設定されているほか、日中でも教室に空きがあればいつでも「自習」が可能だ。したがって、自宅にMacがない学生でも課題制作にどっぷりと浸ることができる。とはいえ、できることなら自宅でも作業したいというのが願いだらう。

また、富田氏と伊藤氏は、「Student Pack」に対しても期待をしているという。

「学校にあるフォントは高く自分では買えない、というのが学生の声です。買えないから、安いフォントを自宅のMacにインストールして使うわけです。しかし、Student Packのようなものがあれば、学校と同じ環境にしやすいで

すし、データの行き来も容易になると思います。」(富田氏)

「書体に対する興味を持たせることが大事だと思っています。興味を持てば、文字についてよく見るようになるでしょうし、モリサワが多くのところで使われていることも気づくでしょうから、自身でもそういうものを使いたいと思えば、Student Packにも興味を持つのではないのでしょうか。」(伊藤氏)

実際に大阪コミュニケーションアート専門学校の教室で学生たちに話を伺ってみると、書体が大幅に増えていることには誰もが気づいていて、中には「リウミンをよく使っている」という学生も。また、Student Packに関しても「その金額なら欲しい」という声がかかれた。

「実学教育・人間教育・国際教育という建学の理念のもと、業界とともに優れた人材を育て上げたい」と話す鞍井学校長。そのためには、講師陣だけでなく、課題の内容、そしてフォント等のクリエイティブ環境も含めて「業界の、本物で最先端の情報、最高の環境に接し、心構えを養った上で社会に出てほしい」と言う。その本物かつ最高の環境のひとつとして、MORISAWA PASSPORTを選択している。

滋慶学園COMグループ
<http://www.jikeicomp.jp/>

デザイン、クリエイティブ系専門学校
東京コミュニケーションアート
専門学校
<http://www.tca.ac.jp/>

大阪コミュニケーションアート
専門学校
<http://www.oca.ac.jp/>

福岡コミュニケーションアート
専門学校
<http://www.fca.ac.jp/>

名古屋コミュニケーションアート
専門学校
<http://www.nca.ac.jp/>

仙台コミュニケーションアート
専門学校
<http://www.sendai-com.ac.jp/>

●使用書体・見出し・本文・新ゴ



MORISAWA PASSPORT

www.morisawa.co.jp/font/passport/

問合せ先
株式会社モリサワ パスポートセンター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25
Tel.06-6647-2253
フリーダイヤル 0120-08-2253
電話受付時間
月曜日～金曜日 9:00～12:00、12:45～17:15
(祝祭日・弊社規定休業日を除く)



MORISAWA FONT
Student Pack 2/4 Years
Student Pack BASIC
www.morisawa.co.jp/std



社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 モリサワ製品の不正コピーなど、違法行為にお気づきの方は(社)コンピュータソフトウェア著作権協会(Tel.03-5976-5178)までご連絡ください。

※本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※本カタログに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ

株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel.03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel.022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel.052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel.011-700-0112
広島営業所 〒730-0805 広島市中区十日市町1-6-27 広島印刷会館1F Tel.082-296-1114
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel.092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0045 鹿児島市武1-11-7 秋ビル Tel.099-252-2255
岡山出張所 〒701-1214 岡山市幸川市場386 Tel.086-284-9766